千葉大学医学部附属病院腎臓内科にご来院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年7月22日

腎臓内科

腎臓内科では、「腎疾患における新規補体活性化経路の探索」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2016年4月1日～2025年6月30日の間に当院で腎生検を施行した際に先行研究「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方

1. 研究課題名

「腎疾患における新規補体活性化経路の探索」

2. 研究期間

2025年承認日～2030年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

腎疾患の発症には、さまざまな要因があると考えられています。その中でも、本来は体内で免疫の働きを担う「補体」という蛋白も腎疾患の発症に関連すると報告されていますが、いまだにその詳細は完全には解明されていません。さらに、これまでに発見された補体を活性化させる原因に加えて、近年新たに報告された補体を活性化させる別の原因について、やはり腎疾患の発症に何らかの関連性があると考えられます。そのため

本研究では、この新たに発見された補体を活性化させる原因と腎疾患の発症のメカニズムの関連性について、先行研究「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方から採取し、保管している血液、尿および腎組織を使用して、関連するタンパクの測定、解析をさせていただきます。本研究により、腎疾患を発症させ、進展させる補体の活性化を止めるような新規治療薬の開発に繋げていきたいと考えています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

先行研究「腎臓内科疾患のデータベース作成ならびに腎臓病の新規診断法と新規治療法の開発」で二次利用の同意を得て採取・保管している血液検体・尿検体・腎組織を試料として用います。また、診療録から下記の情報を収集します。

- ① 診断
- ② 年齢
- ③ 性別
- ④ 治療方法
- ⑤ 治療反応性
- ⑥ 生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：腎臓内科 講師 本田 大介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院腎臓内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院(病院長:大鳥 精司)

腎臓内科 講師 本田 大介

043(222)7171 内線5085